

1998年6月16日

報道関係者各位

ノバルティス老化および老年医学研究基金 1999年度（第13回）研究助成受賞者決定

ノバルティス老化および老年医学研究基金の1999年度（第13回）研究助成の受賞者6名が別紙のとおり決定されましたので、お知らせいたします。

この基金は、主に老化にともなう生化学的、薬学的、免疫学的、医学的分野を支援、また、これまでに研究されていない分野における疫学的分野や行動研究を支援し、老年医学および老年病学の革新的な研究を世界的に促進させることを目的として、1986年に設立されました。ノバルティス ファーマ（株）は、日本老年医学会および日本老年学会と共同で、助成活動を行っています。

授賞式は、6月16日（水）に京都市で開催される日本老年医学会学術集会 総会の公式行事として行われ、翌17日に1997年度の受賞者5名が、当学会席上で研究成果を発表します。

記

- 主 催： 社団法人 日本老年医学会
- 協 賛： ノバルティス ファーマ株式会社
- 授 賞 式： 1999年6月16日（水）
於： 第41回日本老年医学会学術集会 総会（国立京都国際会館）
- 応 募 数： 33件
- 助 成 金： 各150万円（総額900万円）
- 受 賞 者： 別紙参照
- 選考委員： 別紙参照

お問い合わせ先：

ノバルティス ファーマ株式会社
広報グループ・若松 / 喜多
TEL: 03-3797-8027 / FAX: 03-3797-4367

**ノバルティス老化および老年医学研究基金
1999年度（第13回）研究助成受賞者**

[五十音順 / 敬称略]

- いしい なおあき
石井 直明（東海大学 分子生命）
『老化における酸化ストレスの役割』

- いのうえ さとし
井上 聡（東京大学 老年病学）
『骨粗鬆症の病態におけるステロイド受容体の役割』

- うらかみ かつや
浦上 克哉（鳥取大学 脳神経内科）
『アルツハイマー病の原因遺伝子ならびに遺伝的危険因子の解析』

- さとう たくま
佐藤 琢磨（東北大学 老年科）
『ドーパミン代謝調節による老人性肺炎の予防』

- なくら じゅん
名倉 潤（愛媛大学 老年医学）
『ウェルナー症候群の分子遺伝学的解析』

- みつだ のりあき
満田 憲昭（大阪大学 老年病医学）
『新しいタイプのアルツハイマー病モデルマウスの作成
- ヒト型Inducible Nitric Oxide Synthase (iNOS)マウスの作成と評価 - 』

<選考委員>

大阪大学医学部加齢医学 教授	荻原 俊男 先生
東京都老人医療センター 院長	折茂 肇 先生
京都大学医学部臨床生体統御医学/成人・老年病病態学 教授	北 徹 先生
東北大学医学部老人科 教授	佐々木 英忠 先生
昭和大学医学部第二生理学 客員教授	佐藤 昭夫 先生
名古屋大学医学部老年科学 教授	井口 昭久 先生
東京大学医学部基礎神経医学/神経病理学 教授	井原 康夫 先生
東京大学医学部加齢医学/老年病学 教授	大内 尉義 先生
国立療養所中部病院長寿医療研究センター センター長	木谷 健一 先生
広島大学医学部第三内科 教授	中村 重信 先生